

古くは四百年以上
続く名家の分家
僕、王林ヘイスケは
そこに生まれた

いずれは
家督を継ぐ立派な
後継者になるべく

今日も朝寝坊を
決めている

あーもうっ
さっき叩き
起こしたのに
また…

やっと起きたっ

こおら
起きろっ

うっ

しかし
それは従者が
それを許さない…

うう…
真冬…

アタシのせいにな
るんだからっ

まったく
しっかりしてよね
アタシの当番の日に
遅刻したら

早く顔洗えっ

歯磨きっ

どうやら今日は

ハズレの日
のようだ…

着替えっ

ご飯っ

一秒でも
遅れたら許さ
ないんだからねっ

ごめらん
アタシだと
甘えちゃって

あら？
真冬ちゃん
朝から愛され
マウントかしら？

日向姉
そういう話を
してる訳ではない

だが
たるみ過ぎだぞ
真冬

何で
アタシのなのよ
桜花姉

物心付いた頃から
僕の側には
四人の従者がいる

うちの時の方が
もつと
甘えんぼさんやで

喧嘩売ってんの？
紅葉

見慣れた登校風景
それでもやはり
周りの注目を集める

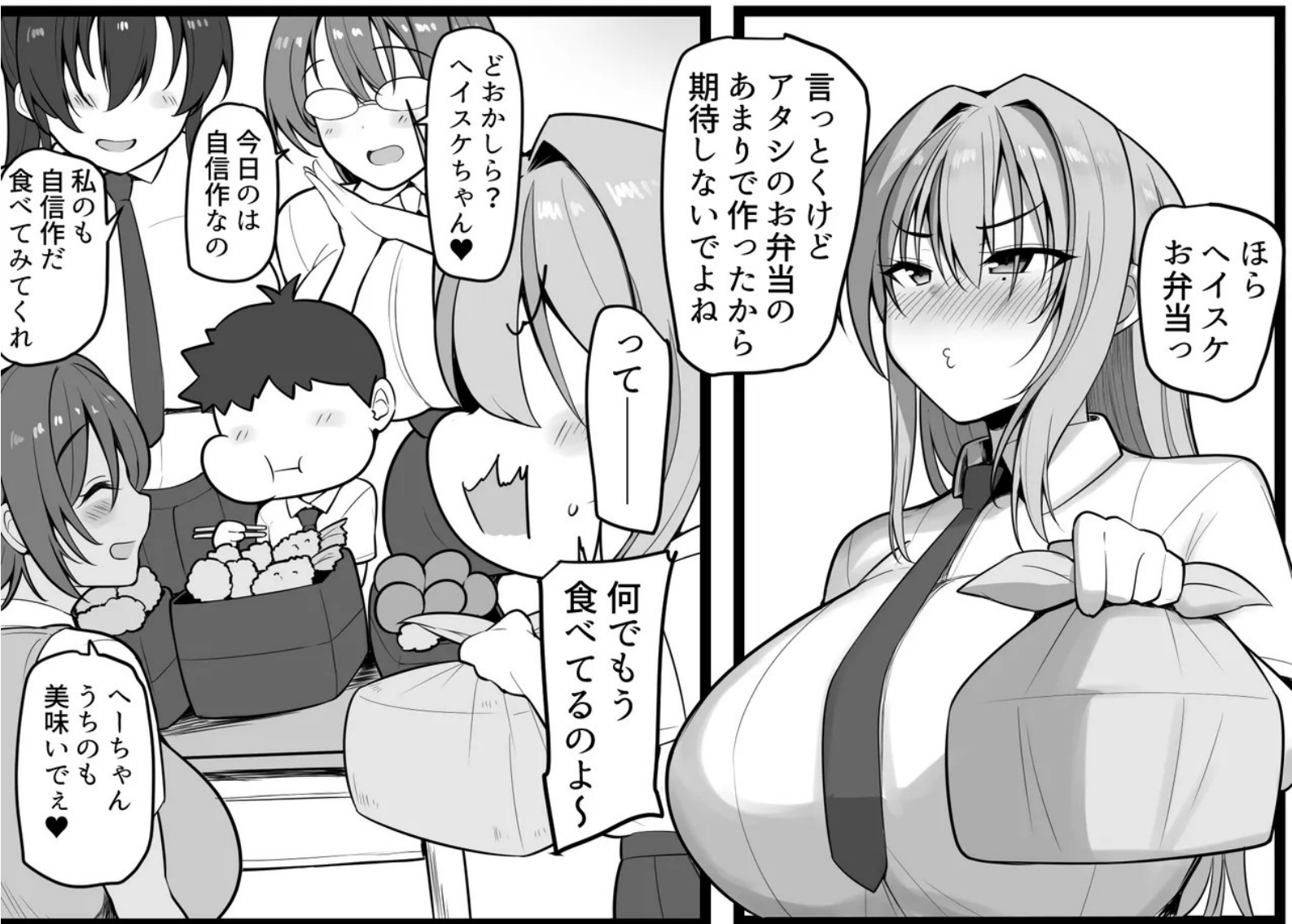
ほんま？

また：
見られてる…

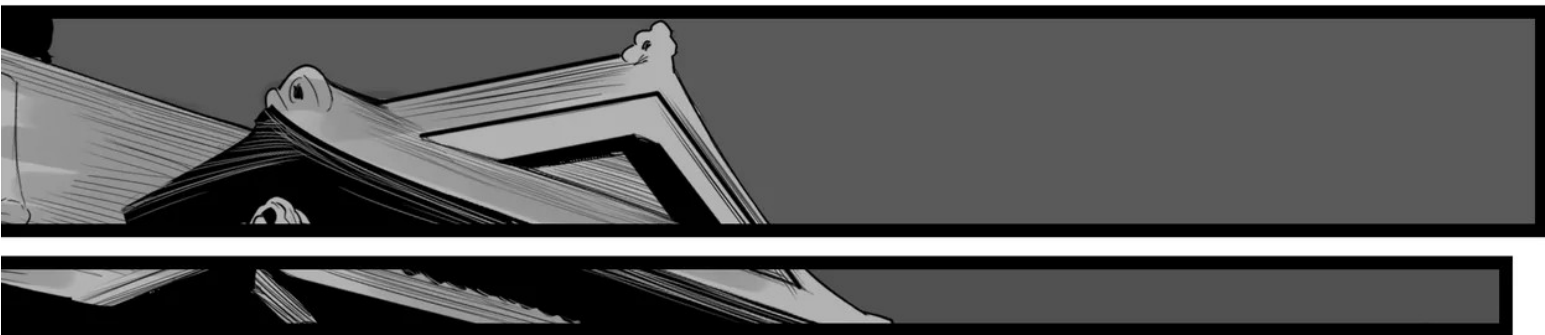
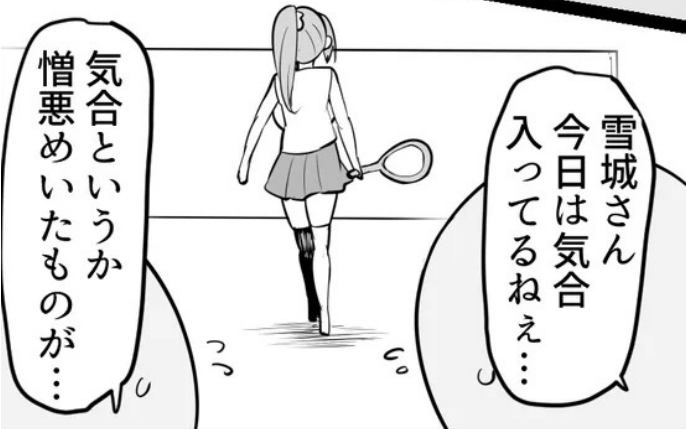
何だ？
あれ？

おっぱいに
囲まれやがって…

ハイレベル
美女四人侍らせて
登校とか大名かよ



放課後





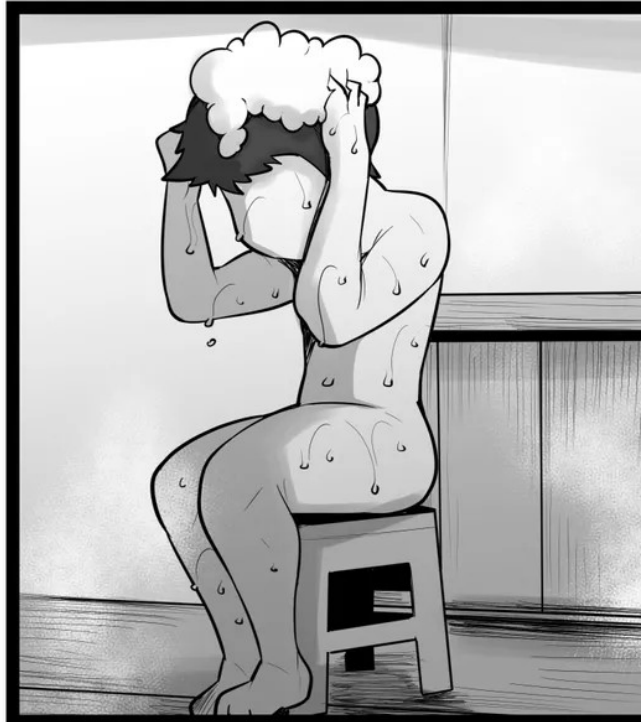
へ…
ヘイスケ…

ひ…
久しぶりに
背中流すわよ…

五年前とじゃ
いろいろと全然違…

なによ…?

早く背中
向けなさいよ



な…なによ?
ほんの五年前
くらいは

いつも洗って
あげてたじゃない

え…いや…
そうだけど





確かに
昔は真冬達と
一緒に寝てたけど…

ヘイスケ…？



あれ…
なんで僕…
真冬と一緒に
寝てるんだ…？



眠れないの？



ほら
こうしたら…
どう…？

真冬の良い匂いと
心地いい感触と鼓動

懐かしい感覚に
包まれながら

僕は眠りについた

彼女たちに
接していると
いつも思う

僕はなんて
幸せ者だろうと

話は
聞いております

はい
父より
将来家督を
継ぐ者として

環境を変えて
見聞を広めよと
言われました

一か月間
とのことでしたね
よろしく
お願いいたします。

学校の編入は
もうお済みですか？

はい

義兄様と同じ
学園の中等部に
編入いたしました

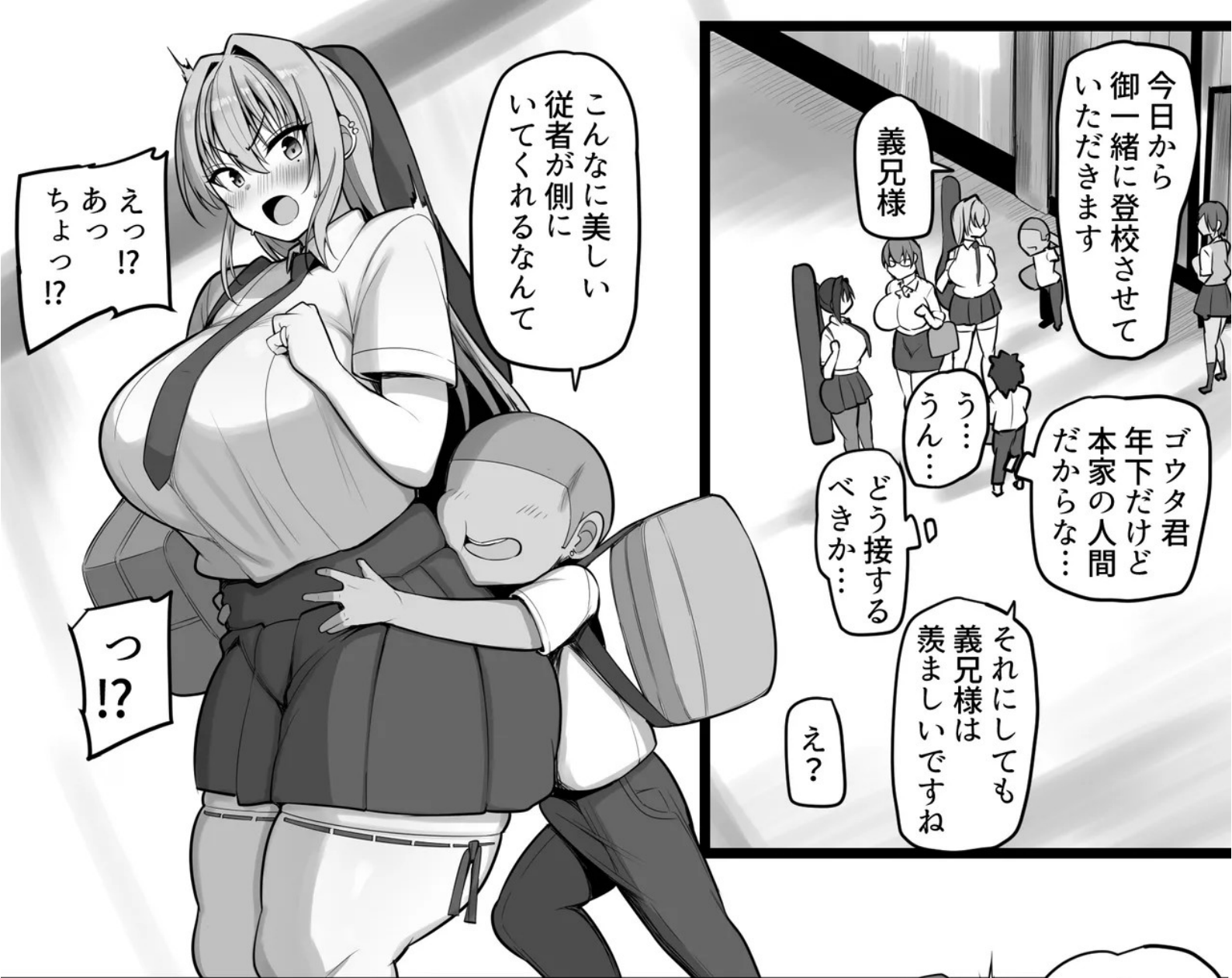
本日から
よろしく
お願いします♥

義兄様♥

本家の
御達しにより
一か月

本家のご子息
王神ゴウタと

生活を
共にするうちに
なつた



まったく
何なのっ？
あのエロガキ…

本家の方じゃ
無ければ…
今頃真つ二つに
しているのに…

まあまあ
落ち着きや

気持ちは
わからんでも
ないけど

だかあれでも
本家の者だ
一か月耐えるしか
あるまい

しかし文言や手口が…
なんとも親父臭い…

あは♥
真冬さん
おかえり〜♥

ちよつ

コイツ最近
更に露骨に…

真冬さん♥
良い匂いだねえ♥

僕この匂い
大好き♥





あ...
やつちやった...

しっしっしっ
おおおいっ!!

いててさ
ダメでしょう

これは王林家当主の
ヘイスケ義兄様
監督責任だよ

従者が客人に
手を上げるなんてさ

まっまって
ヘイスケは関係ないわっ
大体アンタがつ

従者の無礼は
その主人の無礼

父上に
報告したら
どうなるだろうね？

分家のそれも
端っこなんて

嘘…
アタシのせいで…

最悪取り潰し
って事も
あり得るよねえ

でも僕も
鬼じゃないから
チャンスあげるよ♥

それなりの誠意を
見せてくれたら
考えてもいいよ♥

どうかな？
真冬♥

誠意って…
どうすれば…？

へへ♥
それはね♥

は…

だめえ…

すっぴん

すっぴん



提示された
条件それは

三日間
コイツの
従者となる事

あは♡
来た来た♡

ほら♡
何て言うんだっけ？

真冬♡

未熟な…
従者にどうか…
ご指導を…

お願い致します…

うんうん♡
ぎこち無いけど
まあいいでしょ♡





っ！

そんなに
怒らないでよ♥

ほら真冬♥



調子に乗んな…

あは♥
気が強いなあ♥



あつちよつ
痕付けないでっ

なあんだあ♥
お風呂入って
来たのお？

そういう所が
ホント
気持ち悪いのよ…

僕真冬の汗の匂い
嗅ぎたかった
のになあ♥

まっ♥これから
たっぷり汗をかかせて
楽しむんだけど♥

気の強い女性は
好物だよ♥

どうせ最後は
僕に負けちゃうん
だけどねえ♥

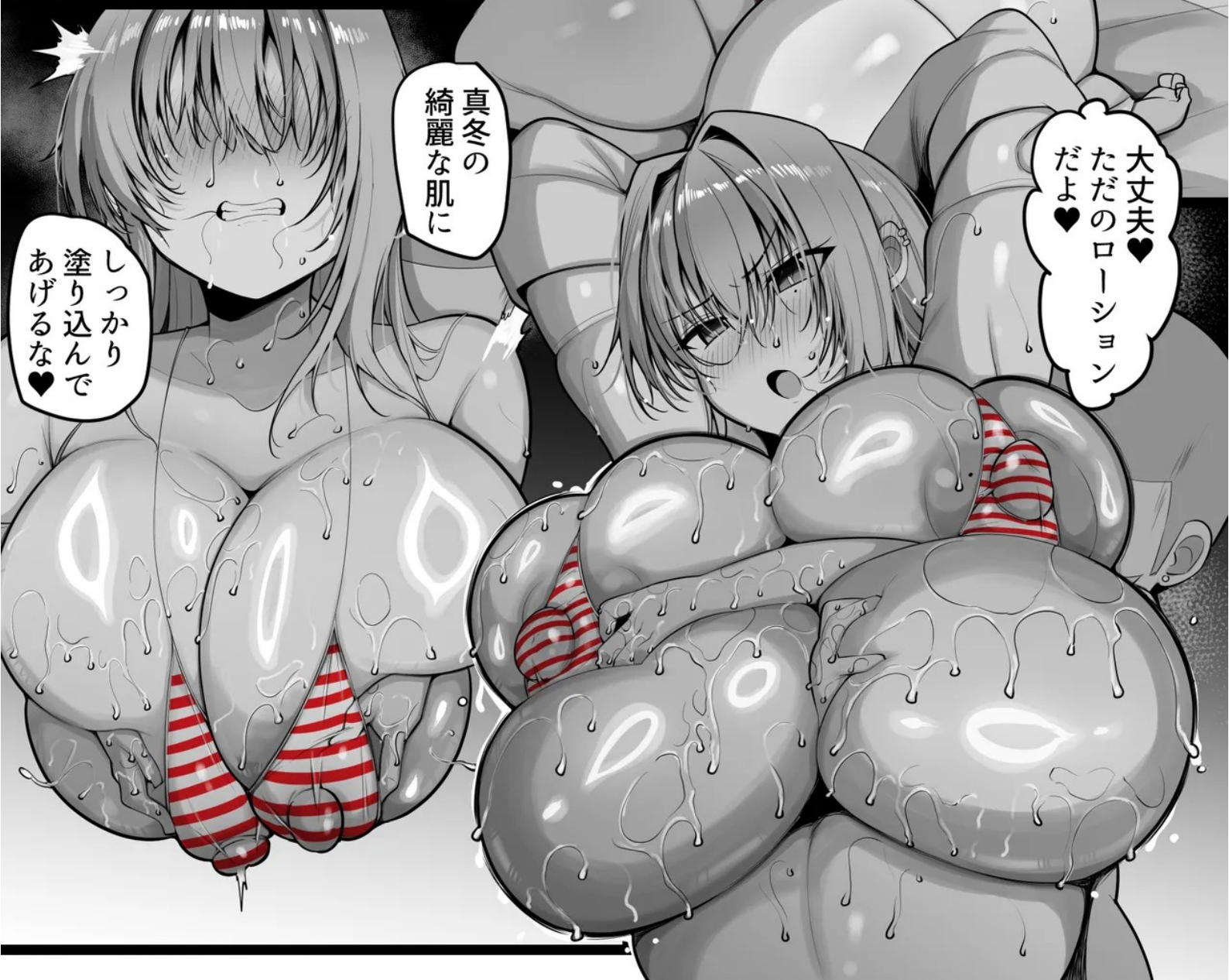


ひゃうっ!!
なっになっ!!

あは♥
二つも
付けちゃった♥

でも僕のモノ
なんだから
良いよね♥

最悪...



真冬の
綺麗な肌に

大丈夫♥
ただのローション
だよ♥

しっかり
塗り込んで
あげるな♥

乳輪が
ぷっくり
してきた♡

あは♡
良い声に
なつて来たね♡
真冬♡

やばっ…
このままじゃ…

気持ち良い事
いっぱい
教えてあげるよ♡

相変わらず
ねっちこい
触り方…

あえて
乳首を外して来て…
ほんつとムカつく…

先ずは
手始めに—

乳首でイケ♡

この隙に
エロ腋にも
キスマーク♡

ほらほら♡
この機会に

乳首イき
しつかり
覚えろよ♡



あんたっ

いつまで
やってるのよっ

いい加減に……

ようやく
皮むけたあ♡

う……うそ
冗談でしょ!?

それじゃあ♡
真冬のエロエロ
おマンコ

まって
こんなの……

ほおら♡
特性サイズのゴム
付けたよう♡

いただきまあす♡

中を
全部削って
押し入って来るっ

奥まで開通♥

入れただけで
何回も
いったでしょ♥
真冬〜♥

イって…
ない…

あは♥
ホントにいい？
少なくとも
デカイの3回

小さいの
8回くらいは
いったでしょ♥
でか今もイってるし♥

全部バレてる…

大外れよ…

ふうん♥
あっそ♥

声抑えても♥
おマンコ
跳ね回ってるから
丸わかりだよ♥

こっち
マンコに聞くから♥

いいも〜ん♥

何とか言えよ♥
顔なんか隠しても
喜んでるの
バレバレだよ♥

主人と違って
こっちは
おチンポ様に
従順だねえ♥

そろそろ
おマンコ
ご主人から感想を
聞きたいなあ♥

キスでも
いいからさあ♥

絶っっ対っ
嫌っ

コイツ：
調子に乗って
振り回して来てっ

今に
見てなさいよっ

ちえ♥
もつと弱らせ
ないとダメか♥

このままじゃ
終わらせないっ

絶対耐えて
目にも見せて
やるからっ

二時間後

あれれ？
また
トンじやったあ？

僕まだ全然本気
出してないのに
なあ♡

あは♡
おはよう♡
真冬♡

そろら♡
目覚ましピストン
だぞお♡

何回
イっちゃった
だろうねえ♡
真冬う♡

いつへ…らい…

やばっ
アタシまた
意識トンでた…

あは♡
まうだ
言ってるよW

イキ過ぎて潮も
吹けなくなってる
くせにさ♡

次は
何分持つかなあ♡

いつになったら
終わるのよ…



だめっ♡

そこって
どこだよ♡

そこっ
拡げちゃっ
だめえっ♡

しきゅっ

子宮口っ♡

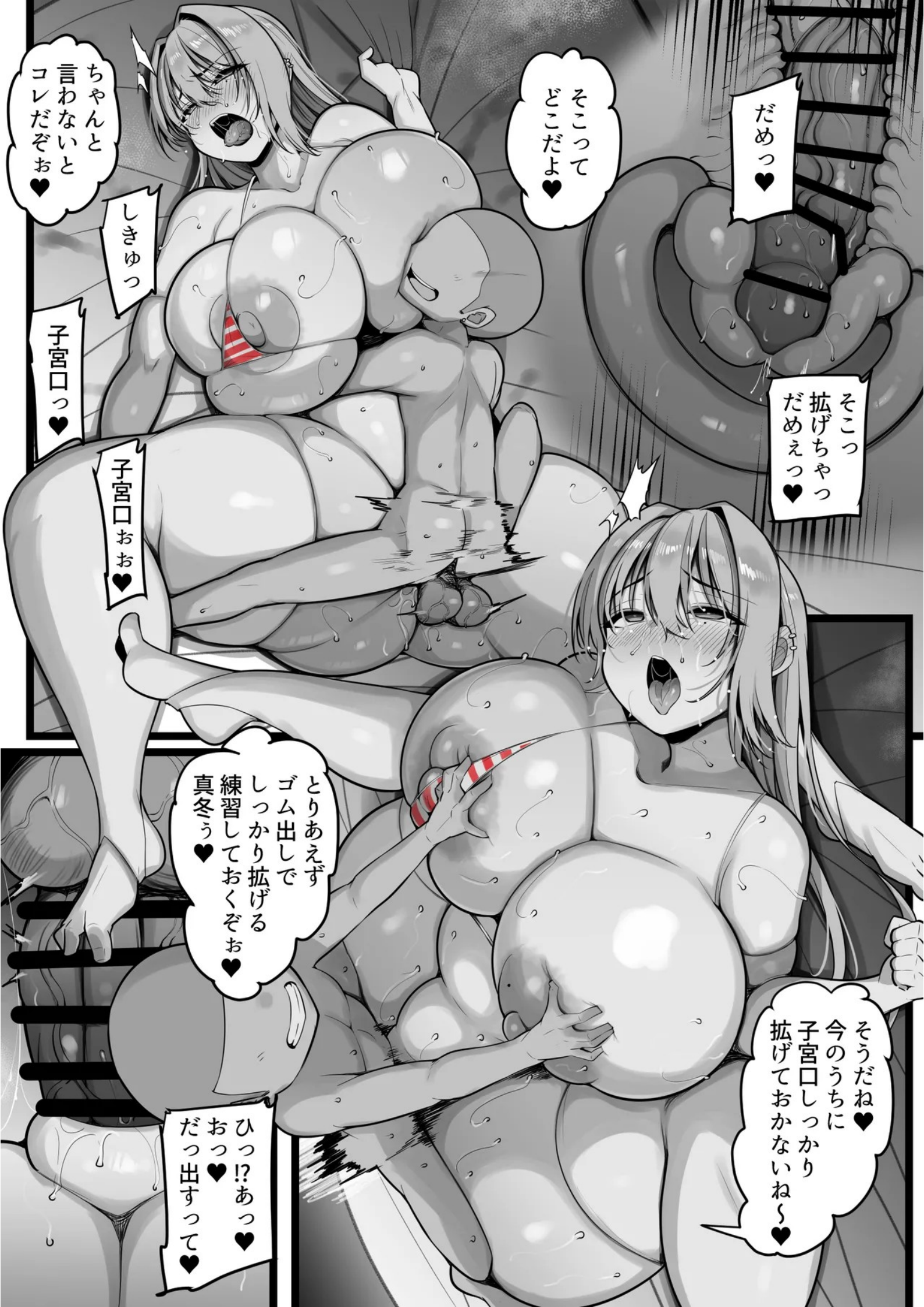
子宮口おお♡

とりあえず
ゴム出しで
しっかり拡げる
練習しておくぞお♡
真冬う♡

そうだね♡
今のうちに
子宮口しっかり
拡げておかないね♡

ひっ!? あっ♡
おっ♡
だっ出すって♡

ちゃんと
言わないと
コレだぞお♡



ゴム出しで
孕め♥

このエロ従者♥

あゝ♥
すっげえ出る♥

おらあ♥
ダメ押し♥



真冬の
初搾り精子♥

こんなに搾り
採られちゃった♥

何度も奥まで
ほじくり
回されて…

膝も腰も
ガクガク…

でもこれで
ようやく…

早くこの汗…
流したい…

あれえ？
もうもしかして
終わったと
思ってるう♥

っ!?

あは♥この僕が
これで終わりの
訳無いでしょ

うそっ
今出したのにつ



後で見せられた
録画動画には

凶悪なチンポに
ひたすら無様に
鳴かされるアタシ…

あんなに
嫌がつてた
キスにも応じ…

ほら♥
もつとカメラに
見える様に
拡げろよ♥

潮も吹けなくなつて
パクパクと痙攣する
尿道と膣穴を
曝け出す姿はまるで

ふあい…♥

チンポに屈服して
媚びて
いるようだった…

さあて♥
ちよつとペースを
あげるよお♥

頑張つて
チンポ抜くんだよ♥
真冬う♥



あは♥観てよ♥
言われなくても
チンキス♥

一晚でずいぶん
チンポ様が気に入った
みたいだねえ♥
真冬う♥♥

一晚かけて
コイツの強さを
嫌というほど
味わわされた

あとで
この映像も観せて
やるからねえ♥

17回は僕としては
全然物足りないん
だけど♥

まあ
三日もあるしねえ♥

まあでも
皆が起きるまで
もう少し
時間があるし

あと2、3発
お願いねえ♥
真冬う♥

それでも
強く誓う――

アタシは
こんな奴に
絶対に
堕とされない――



今日も
良い朝ですねえ♡

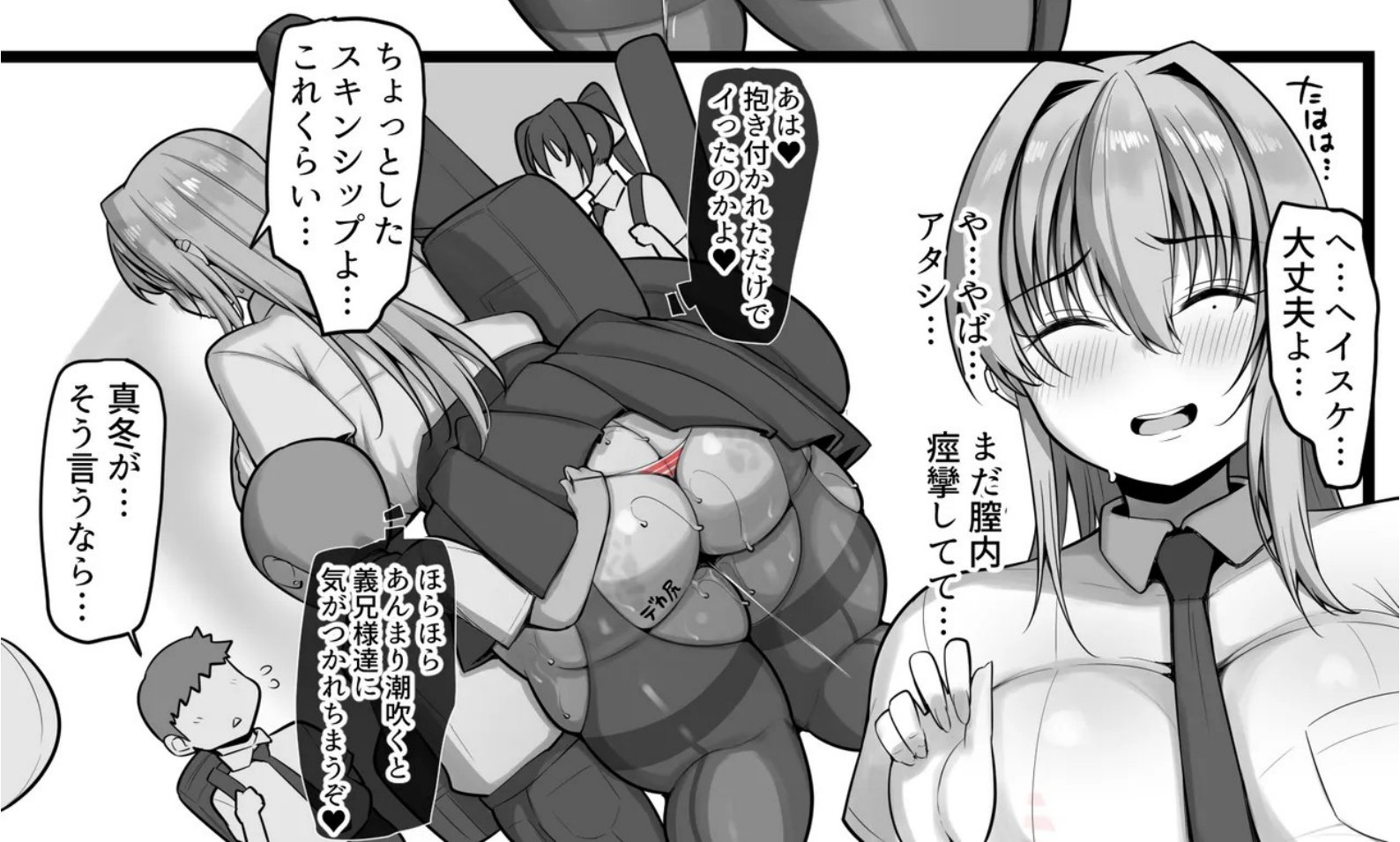
義兄様♡

ほくら♡
行くよ♡
真冬♡

何が…
真冬だ…

ゴウタ君…
ちよつと…
近いんじゃない…

ふえ？
何がですかあ？



へ…ヘイスケ…
大丈夫よ…

や…やば…
アタシ…
まだ膣内…
痙攣してて…

あは♡
抱き付かれただけで
イッたのかよ♡

ちよつとした
スキンシップよ…
これくらい…

真冬が…
そう言うなら…

ほらほら
あんまり潮吹くと
義兄様達に
気がつかれちゃうぞ♡

真冬本当に
大丈夫なの？

ええ…？なに…？
今朝の事…？
気にし過ぎよ…

雪城さん
中等部の子が
呼んでたよ

え…あ…
うん…

ゴメンね
ちよつと
行ってくるね
ヘイスケ…

中等部…
まさかね…

ヘイスケの前で
呼び出す
なんて…

バレたら
どうするのよ…

僕はバレても
構わない
けどねえ ♡

ほおら ♡
早くしないと
終わらないよお ♡
真冬 ♡

わかってる
わよ…

なつがあ…



一晩でしつかり
チンポの扱いを
覚えたねえ♥

偉いぞ
真冬う♥

うっさい
早くイケっ
このバカちんぽっ

ほくら
出るぞ♥

っ
!!

中出し♥

お腹に直接っ

さすが
僕の真冬♥

じゃあ
あと三、四発
お願いねえ♥

こんなに
搾り取られ
ちやったよ♥

コイツ:
絶対許さない...

デカ乳

次の休み時間
にも呼び出され

何回
呼び出すのよ

いやあ
チンポたまらなく
なっちやつてえ♡

でもよかったあ♡
僕専用ゴム
常備させておいて♡

やっぱ
持つべきものは
エロい
従者だよねえ♡

ちよっ
まさかっ
ここでっ？

あは♡
こんなに
糸引かせておいて
よく言うよ♡

さっさとエロ尻
突き出せよ♡

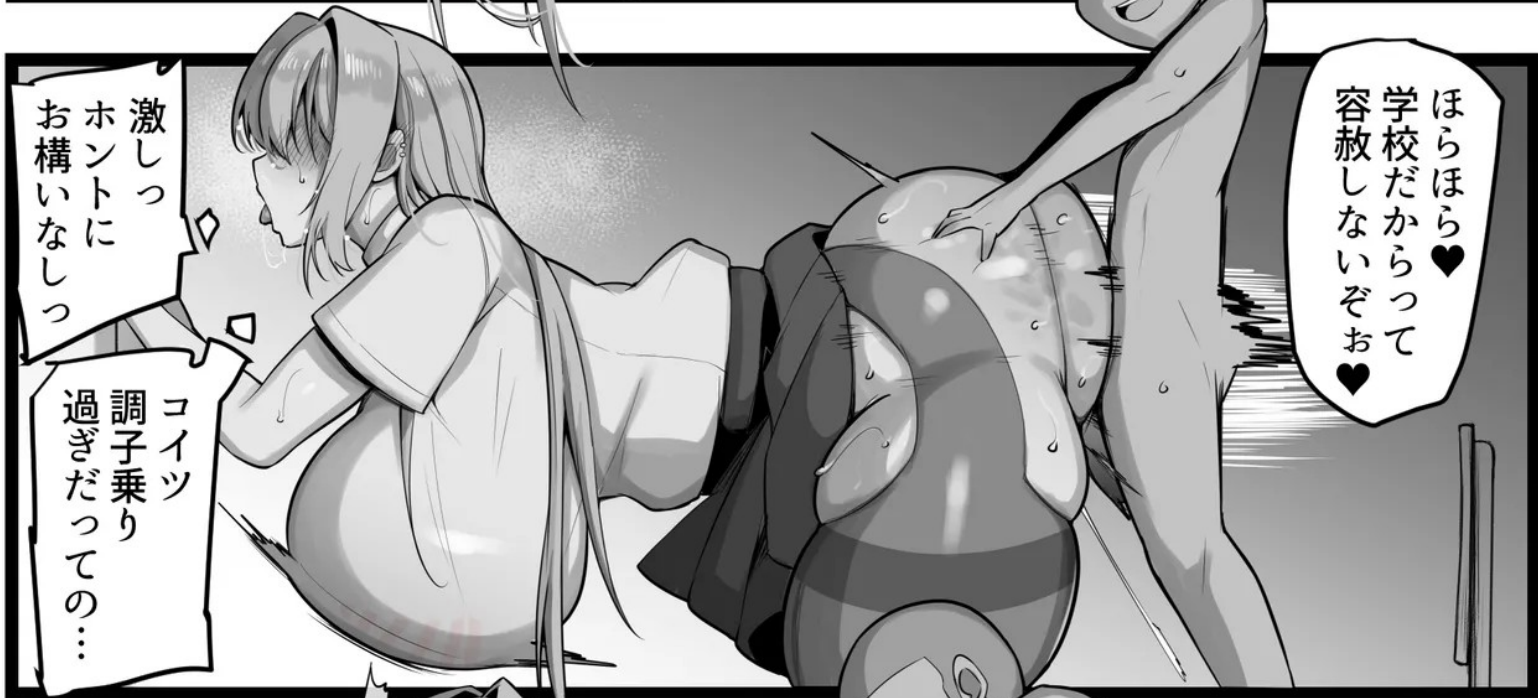
デカ尻

たっぷり
イジメてやるよ♡

このデカ尻♡

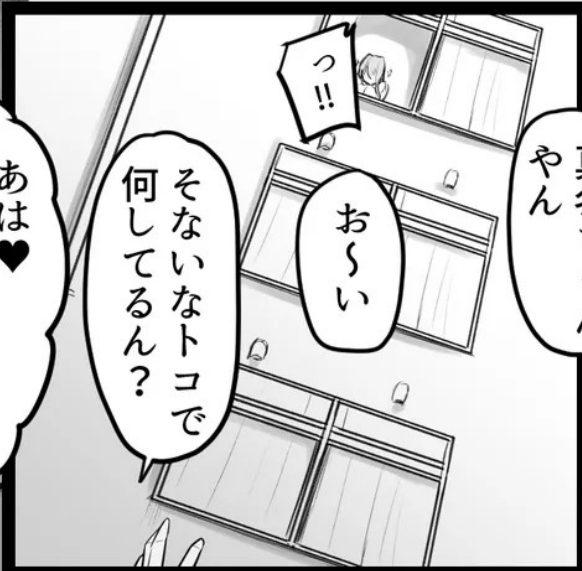
こんな奴の
言いなりに
なるじかないなんて…

デカ尻





あは♥
見つかつちやつ
たねえ♥



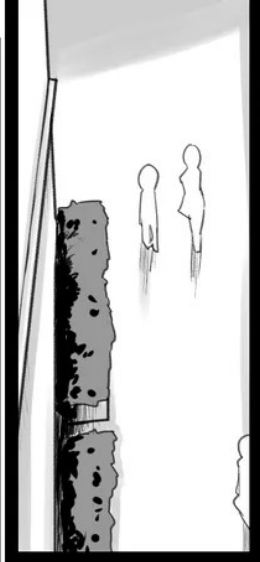
おっ!!

そないなトコで
何してるん?



ほ?

真冬ちゃん
やん



そこやばっ♥

イクっ♥

ほら
返事してやれよ♥
真冬う♥

まっ
まっ
まって...

そんな余裕っ
ないっつ



義兄様たちに
見て貰えよ♥

あは♥
ケツ穴
パクパク
エロいなあ♥

こっちも絶対
奪ってやる♥

ほくら♥
たっぷり
出るぞお♥



???
変やねえ
聞こえてへんの
やるか?



ヤバいくらい...
いったあ...

まだまだ
イクぞ♡

まゝた
お漏らし
してんのかよ♡

どうしたん
やるか?

更に次の
休み時間も…
デカ尻

撮るよ♡
真冬♡

ほおら♡
笑顔笑顔♡

エロくて
かわいいなあ♡
僕の真冬は♡

ちよっ!!
まだするのっ??

覚えて…
なさいよ…

この
エロガキ…

悪態ついても
イキまくって
足腰ガクッガク♡

何回僕に
イカされちゃっ
たんだろぅねえ♡

うっさい…
死ね…

ムカつくけど…
死ぬほど
イカされた…

当たり前じゃん♡
主人の命令は
絶対だよお真冬♡

っ…

この後も
何度も呼び出され
校内で計14回も
SEXした！

足腰
立たなくなるほど
イカされたわ…
ホント最悪…



更には
部活中にも

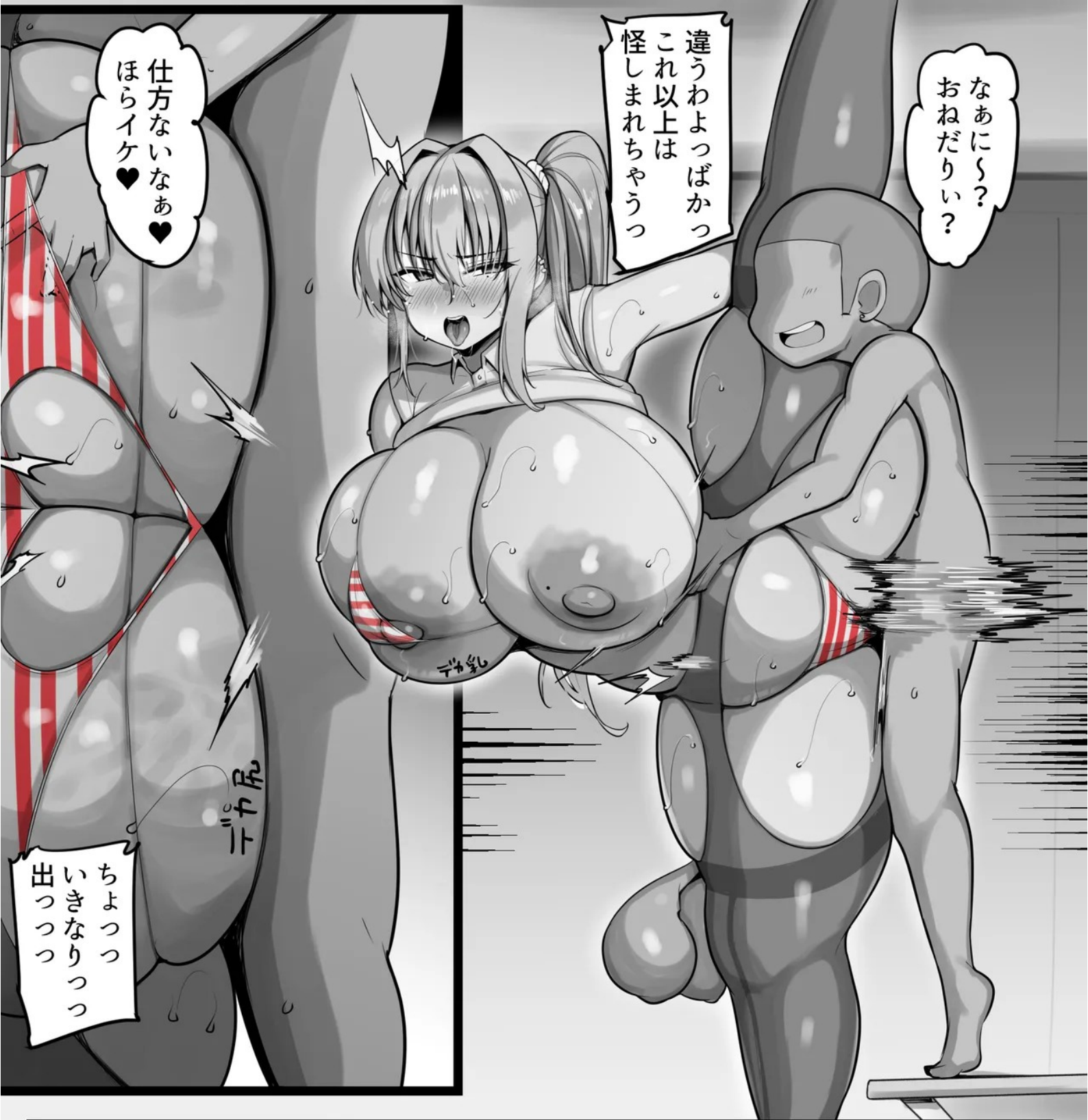
雪城さんは？

あれ？
まだ来て
ないんですか…？

女子更衣室

雪城さんが
遅刻なんて珍しい
ですねえ

はっ早くっ
終わらなさいよっ



なあに？
おねだりい？

違うわよっばかっ
これ以上は
怪しまれちゃうっ

仕方ないなあ
ほらいケ♡

ちよっつ
いきなりっつ
出っつ

デカ尻

デカ乳

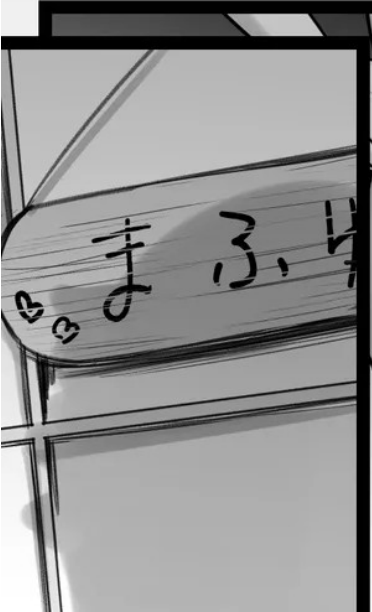


続きは
帰ってからな♡

真冬う♡

はひい…♡

確実に着実に…
私の理性を
削いでいく…



まふ

雪城真冬

MAFUYU YUKISURO

B103W63H99

162

音虎学園二年生

テニス部エース

王林家に代々仕える

雪城家の三女

幼少からヘイスケに

仕えているが実際は

幼馴染の姉弟のような関係

主人であるヘイスケには

従者として線引きしているが

日々自身を揺り動かす本心に

歯がゆい思いをしている

気が強く素直になれない性格

趣味は可愛い物集め



日暮日葵

HIMARI HIGURASHI

B118W68H112

168

音虎学園教師

新体操部顧問

日暮家長女で

他の三人と同時期に従者として
ヘイスケに仕える(当時高校生)

母性が強くダメな学生を

量産している

あまり母性が強いため

ヘイスケに対して暴走する事も
しばしば…



咲春桜花

OUKA SAKIHARU

B111W60H101

172

音虎学園三年生

剣道部主将

咲春家次女

真冬らと同時期にヘイスケへ
従者として仕える

主に彼の警護を務める

人に厳しい一面を見せるが

自分には更に厳しい

だがヘイスケにはどこか

甘くなってしまうのは

自覚していない

才色兼備で学園でも

皆の憧れの存在



秋風紅葉

MOMIJI AKIKAZE

B112W65H107

158

音虎学園二年生

水泳部エース

秋風家の長女

真冬達と同時期から

ヘイスケの従者として彼の

身の回りの世話をしていた

同い年の真冬とは

最も気安い関係

ヘイスケは弟のように思いつつも

近頃は別の感情を抱き始める

常に柔らかな物腰で相手を

包み込む

